公開・非公開の別	■公　開　□部分公開 □非公開

令和４年度第４回浜松市行政区画等審議会会議録

１　開催日時　　令和４年９月８日（木）　午後２時から午後３時まで

２　開催場所　　浜松市役所　本館８階　第４委員会室

３　出席状況　　委　　員　　伊藤徳江、澤井勇一、鈴木純哉、鈴木美佐男
竹内直美、藤井康幸、松下ひとみ
オブザーバー　池ケ谷弘巳、望月久
区再編推進事業本部　岡安本部長、嶋津副本部長、川西主任
事務局　小杉課長、中村専門監、渡邊副主幹
長谷川副主幹、野末主任、永由

４　傍聴者　　４人（報道１１社１５人）

５　議事内容　　区名候補募集結果の報告及び区名候補の選定方法について

６　会議録作成者　　文書行政課総務統計グループ　野末

７　記録の方法　　発言者の要点記録（録音無）

８　会議記録

１　開　会
　事務局
　・委員の出席数について
　・傍聴について
２　議　事
区名候補募集結果の報告及び区名候補の選定方法について
　区再編推進事業本部
　　以下の資料に基づき説明
　　・区名候補選定について
　　・資料１　区名候補募集　集計結果
　　・資料２　【ステップ 2】Ａ区の検討（応募件数上位 100 位、50 音順）
　　　　　　　【ステップ 2】Ｂ区の検討（応募件数上位 100 位、50 音順）
　　・資料３　【ステップ 3】ステップ２で選定した案、応募件数順位順
　　・資料４　【ステップ 4】区名候補「追加」の考え方
　　・資料５　区名アンケート広報物の内容（要項）
　鈴木会長
　　区名候補募集結果の報告及び区名候補の選定方法について、何か質問はあるか。

澤井委員

区名の募集については、ちょうど夏休み前ということもあり、未来の浜松に向かってという観点から、将来を担う小中学生の応募を増やすための取り組みをするとのことだったが、区名アンケート実施にあたって小中学生の応募を増やすための取り組みはするのか。

区再編推進事業本部

区名の募集にあたっては、教育委員会から学校の協力を得て、夏休み前に、区名を募集するので、興味を持ってぜひ応募して欲しいという説明をしてもらったと聞いている。また、夏休み期間に入った後、保護者宛てに電子的な連絡網を使い、応募サイトへのリンクを設定した募集開始の案内も行った。結果的に、資料 2 の集計結果でも説明したとおり、小中学生については人口構成比に対し多く応募をいただいた。特に電子的な連絡網については有効だったと感じている。

今回についても、学校の協力を得て、同様の方法をとることを考えている。

鈴木美佐男委員

非常に多くの応募名称案の中から 5 案及び追加の 2 案を選定するのは大変な作業だったと思うが、今後、投票ではなくアンケートを行うということで、アンケートの結果を受け、多かったもので決定するというわけではなく、多かったものの中から皆さんで審議をして決めていくということでよいか。

区再編推進事業本部

委員のおっしゃるとおり、区名アンケートという形式で行い、区名候補の選定と同様に、アンケートを実施した後、市議会特別委員会に報告し、もらった意見を踏まえた上で、行政区画等審議会に報告及び提案して審議することになる。

鈴木会長

資料 5 の区名アンケート広報物の内容には、アンケート結果を参考に選定しますと記載されているが、具体的な記載はしないのか。

区再編推進事業本部

流れは今説明したとおりとなるため、必要があれば、「結果を参考に、市議会特別委員会の意見を踏まえ、行政区画等審議会で選定します」といったように補足することは可能であると考える。

鈴木会長

市民が最も興味を持っているのは、どうやって決まるのかということだと思うので、決定方法がわかるようになっている方がいいと思う。

伊藤委員

資料 5 の区名候補の下に記載されている理由は、それぞれの区名候補のイメージが伝わってとても分かりやすいと思う。実際の印刷物にもこのように印刷されるのか。

区再編推進事業本部

区名候補の名称のみを記載してもいいが、市民の皆さんにたくさんの応募を理由付きでいただき、素敵な理由を考えていただいたので、紙面に限りがあるが、印刷物にも入れていきたい。ホームページなどの電子的なものについては、もっと多くの理由を載せていくこともできると考える。

鈴木会長

続いて、何か意見はあるか。

藤井委員

候補の中の、青区については違和感を覚える。「色が“青く”なる」など普通の会話で使用する言葉と同じ音のため、話しているように聞こえるので、区名として使うのは難しいのではないか。

また、「中央区」など他の市で使用している区名についてはオリジナリティを感じられないので避けた方がいいのではないかと思った。

区再編推進事業本部

「青」に関しては、資料 3 の別紙（Ａ区）にあるとおり、単に言葉として「青」を使用しているわけではなく、海や温暖な気候、空の青さや佐鳴湖など美しい青色に囲まれているという市民のイメージや思いがあるため、委員のおっしゃるような懸念はあるかもしれないが、候補に入れている。

他の政令市で使用している区名についても、例えば、Ａ区の灘区は神戸市にもあるが、「灘」は遠州灘に由来するもので遠州灘への愛着から応募いただいたものであり、Ｂ区の緑区についても、Ｂ区をイメージしたときにすぐに思い浮かぶ言葉であり、合併前の市町や現在の北区、浜北区においても「緑」というキーワードのもとにさまざまな政策の方針等が作られていることもあり「緑」という言葉に親近感があるということで応募いただいている。このように、他の政令市の区名との重複があったとしても、市民がその区をイメージして出てきた言葉であるため、重複することをもって排除しなかったものである。

区再編推進事業本部

他の政令市との重複については、悩ましい問題だというのはその通りであるが、灘区、緑区のように、市民のイメージから出た言葉にたまたま重複したものがあったという受け止め方もできる。候補となったものについてはそれぞれの地域の特性に合っているという観点から評価させていただいたということである。

青区に対する違和感については、日本語の響きという観点から違和感があり、ふさわしくないのではないかということと受け止めた。青区と応募いただいた方の思いは先程申し上げたとおりだが、評価がわかれるところでもあると思うので、何かご意見があれば承らせてもらえればと考えている。

鈴木会長

追加した 2 案についても、市民が見ることのできる資料 3 のような資料があるとよい。

区再編推進事業本部

追加した 2 案についてはステップ 4 で、応募件数が多かったものについては一体感を阻害するものではないという観点から追加したものであり、区名の理由もステップ 3 で候補とした 5 案と同じようにある。資料 5 記載の内容については広報媒体に紙面の許す限り記載していくが、追加した 2 案の理由についても、資料 3 程度のボリュームでホームページ等に掲載できればと考えている。

鈴木会長

いろいろな質問、意見が出たが、私としては現在の案でいいのではないかと考えるがよろしいか。

（異議なし）

鈴木会長

ありがとうございます。それでは、区名候補の選定については、案のとおりとします。

次回の審議会では、区名アンケートの結果を受けて、区の名称の答申案について審議します。

3　その他

事務局

・次回審議会の開催時期について

4　閉　会